

豊岡市教育研修センターだより



豊岡市教育委員会 2017(H29)9.4

No.5

豊岡市のホームページにもアップしています

豊岡市HP→左中段「⇒教育委員会」→「⇒教育研修センター」からご覧いただけます

平成29年度 豊岡市教育フォーラム

8月10日に平成29年度豊岡市教育フォーラムを開催しました。このフォーラムは、日本の教育界に大きな影響を与えた教育者、東井義雄氏の教育理念である「子どもの心に寄り添った教育」に学び、東井教育の現代的実践化について考えることを目的にしています。

そこで、まず、子どもの事実に学ぶことや子どもに寄り添うことを常に心がけ、一人一人の子どもを大切にする実践を行っておられる、日高小学校の藤田先生、弘道小学校の岸本先生、日高東中学校の土野先生の3名の先生方に実践発表をしていただきました。

藤田先生には、「わかる」ことが「楽しい」、「できる」ことが「自信」や「意欲」につながるという実践をもとに、子どもに寄り添うことについて発表していただきました。岸本先生には、これまで出会ってきた子どもたちとの関わりをもとに、子どもたちが主体性を発揮するために大切なことについて発表していただきました。土野先生には、子どもたちに寄り添い、見えてきた課題の改善を図るため、「分かる授業」と「仲間づくり」を一体化させた取り組みについて発表していただきました。どの実践発表も、授業を通して子どもに寄り添おうという思いが強く伝わってきました。



続いて、フロアの先生方との交流を行いました。実践発表を聞きながら、何を考えたのか、どう感じたのか、また印象に残った言葉等、先生方一人一人の心に残ったこと中心に発言していただきました。先生方の発言により、「子どもの事実に学び、子どもに寄り添う教育」について考えを深めることができました。ありがとうございました。

最後に、朝日大学教授 豊田ひさき先生に「アクティブ・ラーニングの授業づくり —東井義雄から学ぶ— 」と題して講話をしていただきました。東井先生が、相田小学校の5年生で実践された算数の面積の授業をもとに、新学習指導要領でも提示されている「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」についてお話ししていただきました。授業という視点で東井先生の実践のすばらしさを改めて確認することができました

